

## 成果報告書 概要

2011 年度助成 (実践期間：2012 年 4 月 1 日～2013 年 12 月 31 日)			
タイトル	自然に親しみ、体験を通して、持続可能な社会を構築するための基礎を学ぶ (持続可能な社会づくりを担う児童の育成 ～ESD の実践と研究～)		
所属機関	横浜市立三保小学校	役職 代表者 連絡先	学校長 和泉 良司 045-931-1026

対象	学年と単元：	課題
○ 小学生	【個別支援級を含む全学年での実践】 第2学年 竹とあそぼう(生活科)	○ 教師の指導力向上を目指す教員研修、 実験方法指導、教材開発
中学生	第5学年 田んぼの学校(総合的な学習の時間)	○ 子ども達の科学的思考能力の向上を 目指す授業づくり、教材開発
教員	第6学年 写真で伝えよう(総合的な学習の時間)	ものづくり(ロボット製作等)による、科 学分野で活躍する人材の育成
その他	第6学年 追Q! 電気の性質と働き(理科) など	○ その他



実践の目的：	自然に親しみ、体験を通して持続可能な社会を構築するための基礎を学ぶ。 (ESD の実践と研究を通して、持続可能な社会づくりを担う児童を育成する。)
実践の内容：	個別支援級を含む全ての学年において、ESD(特に環境教育、科学教育)を核にした教育活動(主に生活科、理科、総合的な学習の時間)を実践した。 例A) 第5学年、総合的な学習の時間「田んぼの学校」 稲作体験や田んぼの魅力を「探り、発信」する活動を通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う。 例B) 第6学年、理科「追Q 電気の性質と働き」 エネルギー資源の有効利用という観点から、発光ダイオードなどを活用した、電気の効率的な利用についてとらえることができるようにする。
実践の成果：	各学年での実践を踏まえ、クロスカリキュラムによるESDや生活科の年間指導計画、総合的な学習の時間の基本構想図などを作成し、研究紀要にまとめた。また、実践の成果を公開授業研究会やこどもエコフォーラム等で発表した。
成果として特に強調できる点：	教師サイド ESDの内容(環境・地域・食・国際理解等)をもって生活科や理科、総合的な学習の時間に取り組むことができたようになった。 児童サイド 森や川、田んぼなどの自然に親しむとともに、そこで学んだことを整理・分析し、まとめ、発信することができるようになった。何よりも三保のことを好きになった。

# 成果報告書

2011 年度助成	所属機関	横浜市立三保小学校
タイトル	自然に親しみ、体験を通して、持続可能な社会を構築するための基礎を学ぶ (持続可能な社会づくりを担う児童の育成 ～ESD の実践と研究～)	

1. 実践の目的 (テーマ設定の背景を含む)
2. 実践にあたっての準備 (機器・材料の購入、協力機関等との打合せを含む)
3. 実践の内容
4. 実践の成果と成果の測定方法

## 1. 実践の目的 (テーマ設定の背景を含む)

三保小学校の周りには新治市民の森、念珠坂公園、田んぼなど、季節ごとに色を変えるたくさんの自然がある。また、森の間を抜けるように、鶴見川の支流である梅田川が流れ、そこにはホトケドジョウやハグロトンボ、ゲンジボタルなど、横浜の他の地域ではめったに見ることのできない生き物たちが元気に生息している。

エネルギーの問題をはじめ、環境保全への取り組みがますます喫緊な課題となっている昨今、この恵まれた自然を学習材として活用しない手はない。地域にある豊かな自然と積極的に関わり、諸感覚を十分に使った学習活動を展開することで、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を身につけることができると考える。

そこで本校では「自然に親しみ、体験を通して持続可能な社会を構築するための基礎を学ぶ (持続可能な社会づくりを担う児童の育成 ～ESD の実践と研究～)」をテーマに、ESD (特に環境教育、科学教育) を核にした教育活動を実践する。



## 2. 実践にあたっての準備 (機器・材料の購入、協力機関等との打合せを含む)

機器・材料の購入については、デジタル式気体測定器や水質測定器、放射温度計などの環境調査に関する測定器を揃えて ESD に関わる学習環境を整えるとともに、移植ごてやスコップ、プランターなどを購入して花壇を整備し、校内の自然環境を整えた。また、調査活動や分析を充実させ、わかりやすく発信するための ICT (デジタルカメラ、顕微鏡投影機など) の整備を行った。

協力機関等については、新治市民の森愛護会や一本橋メダカひろば愛護会、地域の農家の方や昔遊び名人などをお願いして、学習活動に協力していただいた。また、環境教育推進校として公開授業研究会の準備、こどもエコフォーラムへの参加及び環境教育実践活動 (H24 年度「未来に残したい三保の自然」、H25 年度「伝えよう 三保のコメの魅力! ～田んぼの学校～」) の報告準備、中山地区センターでの写真展 (H24 年度「未来に残したい三保の自然」、H25 年度「伝えたい! 三保の自然展～未来へ残そう まちの自然～」) の準備などを行った。





### 3. 実践の内容

#### 例1) 第2学年のESDの取り組み ～竹とあそぼう～

学校から20分ほどのところにある新治市民の森には、大きな谷戸や複雑に入り組んだ尾根や谷、コナラやクヌギなどの深い森が広がっている。2年生は、森の中にある竹を教材にして、新治市民の森愛護会の方々と一緒に活動を行った。遠足では、竹を輪切りにして、竹ぼっくりにする「竹の切り出し」を行い、後日、本校で「竹ぼっくり・竹でっぽう」に仕上げ、学年全体で遊んだ。また、「竹の切り出し」の際に残った竹を使って、リユースしたものを持ち寄り、「竹の世界」を開催した。リユース品作りを手助けしていただいた新治市民の森愛護会の方々にも楽しんでもらいながら、子どもたちはそれぞれのリユース品の面白さ・アイデアのよさを伝え合うことができた。竹という「材への愛着」、そしてまちの自然を守る地域の方々とのおいあひから、自分たちのまちを思う「ふるさと意識」をもってほしいと考える。(H25年度)



新治市民の森での竹切り体験



竹のリユース品作り

#### 例2) 第5学年のESDの取り組み ～田んぼの学校～

5年生は、毎年、三保・新治地区で農業を営むIさんと一緒に、田植えや稲刈りなどの米作りを体験している。本年度は、地元でとれる米の魅力や米作りにおける様々な工夫、自然の一部である田んぼの価値などを探り、地域に発信する活動を行った。田植えなどの稲作体験や、田んぼの魅力を「探り、発信」する活動を通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養うことがねらいである。学習の最後に「三保の米の魅力伝える」PR集を作って地域に配布した。(H25年度)



#### 稲作体験

苗床づくり、代かき、田植え、草取り、観察、稲刈り、脱穀、食べる



#### 情報リサーチ(整理・分析)

Iさんを招待して「思い」に迫る(3回)



#### 情報リサーチ(情報収集)

Iさんの直売所で消費者にもインタビュー

#### 制作・プレゼンテーション(発信)

田んぼの学校で学んだことをPR集にまとめ、プレゼンをして地域の大人に発信! PR集と一緒においぎりをふるまいました♪



#### 例3) 第6学年のESDの取り組み ～写真で伝えよう 未来に残したい三保の自然～

6年生は、まちの自然に目を向ける中で、三保のまちを知る「チャンス」を作り、環境保全に「チャレンジ」し、まちへの関わり方を「チェンジ」する活動を行った。昨年度の活動を受け継ぎ、まず、三保のまちの自然を写真に撮影するところから活動をスタートした。そして、梅田川の生き物調査や清掃活動に取り組んだり、一本橋メダカひろば愛護会の方々から話を聞いたりすることなどを通して、まちの自然の貴重さを実感することができた。「この豊かな自然を、未来に残したい」との思いをもった子どもたち。中山地区センターのご協力を受けて、自分たちが撮影した写真にポスターを添えて展示することで、地域に住むより多くの方へ発信した。(H25年度)



駅前写真展のちらし配り

## 4. 実践の成果と成果の測定方法

### ① 学校力・教育力アップ／年間指導計画の作成（若手も安心、新しく来た先生も安心）

第5学年ESD・『横浜の時間』年間指導計画（本校クロスカリキュラム例）

5年	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合	田んぼの生き物 環境人と自然		学校の手入れ 環境人と自然		田んぼの学校、森の学校 環境人と自然 人と社会 国際理解		収穫を祝おう 食の文化		ワラやぬかのリサイクル 環境人と社会		三俣の米の魅力を伝えよう 環境人と社会 地域・歴史・文化			
国語	書いて、書いて、書いて みよう（インタビュー） 環境人と社会		活動を紹介する 文章を書こう 環境人と社会		環境に生かす 環境人と社会		環境に生かす 環境人と社会		環境に生かす 環境人と社会		環境に生かす 環境人と社会			
社会	国土の様子 環境人と社会		気候を生かした 地域の暮らし 環境人と社会		暮らそう 日本のはなし 環境人と社会		暮らしを支える水産物 環境人と社会		これからの自然 環境人と社会		日本の工業の特色 環境人と社会		みんなで自然を守る 環境人と社会	
算数	環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む			
理科	植物の育ち 環境人と自然		心ばかりの誕生 環境人と自然		人の誕生 環境人と自然		植物の育ちのつくり と果と種子 環境人と自然		高層と天気の変化 環境・安全		流れる水の はたらき 環境・安全		電流の性質 環境・エネルギー	
音楽	環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む			
図工	環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む			
家庭	季節を感じて 環境人と自然		自分で作る 食の文化		自分で作る 食の文化		自分で作る 食の文化		自分で作る 食の文化		自分で作る 食の文化			
体育	環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む			
道徳	自然を大切に 環境人と自然		かがえの春の命 環境人と自然		よい習慣を 健康・安全 環境を守ろう		自然と関わる 環境人と自然		自然と関わる 環境人と自然		自然と関わる 環境人と自然			
外国語	環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む			
特活	環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む			
行事	環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む		環境に関する価値を育む			

環境 地域 食 健康・安全 国際理解

### ② 学校力・教育力アップ／研究紀要の作成など（大人の学びを科学する）



梅田川で生き物調査



授業後の研究協議会



### ③ 子どもの成長（6年 総合的な学習の時間「写真で伝えよう～未来に残したい三保の自然～」より）

- たくさんの人に写真を観てもらうためにはどうすればいいか。話し合ってみんなで出したアイデア（チラシ配り、ポスターの作製）を実行するなど、自発的に活動することができたと思う。街に出て自分たちで自然を守る活動をしたのは初めてだったので、行動する力がついた。
- チラシにホトケドジョウの絵を描いて、三保の自然をアピールしました。川魚について、よく調べるようになり、違う分野についてももっともっと知りたいなと思うようになりました。
- 写真を撮ったときに、普通に生活をしているとあまり気付くことのない「自然」が、身の周りにたくさんあることを知り、驚いた。これまでは、普段の生活の中で、いつも同じところから風景や物事を眺めていたけど、少し視点を変えると今まで見えなかったものが見えるということを学んだ。